

加美町まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～善意と資源とお金と自然にやさしいまちづくりの実現を加速する推進力～

人口ビジョン

中長期展望

加美町の現状分析

- ◇ 平成15年の合併時をピークに毎年減少
- ◇ 平成7年以降 老年人口数と年少人口数が逆転
- ◇ 平成23年以降 死亡数は出生数の2倍以上
- ◇ 平成25年の合計特殊出生率1.33 (全国1.43)
- ◇ 毎年160人以上の転出超過 (約半数が10代後半～20代前半)
- ◇ 基幹産業の農業従事者の半数以上が60歳以上
- ◇ 平成72年の人口は11,000人と推計
- ◇ 20～39歳の女性人口は全人口の1割未満
- ◇ 人口減による個人住民税収の減少
- ◇ 公共施設の更新による財政負担

人口の将来展望に向けた意識調査

- 町民満足度調査 ● 子ども子育てアンケート調査
 - 定住就労に関するアンケート調査 (中新田高校・宮城大学)
 - まちづくりワールドカフェ
- ↓
- 【子育て】 小児医療の充実、公園整備、保育に対する経済的支援や一時預かり保育の充実
- 【若者定住】 公共交通の充実、にぎわい創出、まちのPRとイメージアップ、就職・起業支援
- 【その他】 教育環境の充実、生活の利便性向上、地域資源の発掘、継者対策、地域コミュニティの充実

加美町の基本的な課題

- ◇ 優れた自然との共生 ◇ 産業、経済基盤の安定
- ◇ 安心して生活できる生活基盤の整備 ◇ 保健・医療・福祉
- ◇ 教育環境の充実と町の発展を担う人材の育成

平成72(2060)年の遠方目標

- 1. 地域資源を活用したお金の循環を生み出す里山経済の確立**
 工食住の自給を目指し、エネルギー、食料、建物の地産地消を進め、お金の循環を生み出すとともに、観光資源を活用したお金の流入する仕組みを構築します。
- 2. 健康社会の実現による、誰もが健康で心豊かに暮らせる地域づくり**
 生活の質(QOL)を極力保ちながら、生きがいづくりや歩きたくなるまちづくりを進め、高齢者も安心して住み続けられる地域づくりを目指します。
- 3. 安心して子どもを産み育てられる子ども・子育て応援社会の実現**
 町を上げて子ども子育て世帯を応援する姿勢を示し、また、子どもたちが夢や目標を持ち、生きる力や必要な学力を身に付け、健康やかに成長する環境を整備し、移住定住の促進を図ります。

善意と資源とお金と自然にやさしいまちづくりを実現

平成72年 目標人口：1万5000人

総合戦略(平成27年度～31年度の5年間)

位置づけ

期間は5年間とし、第二次総合計画に含まれ、**同計画を進める推進力と位置づけ**、実施事業は同実施計画と整合を図り展開していきます。

理念

- 【共生】 船形山、薬菜山、鳴瀬川をはじめとする本町の豊かな自然環境を保全するとともに、これらが有する資源を再生可能エネルギーや美しい環境づくり、雇用の創出、食の地産地消など最大限に生かし、人と自然が共生するまちづくりを推進します。
- 【協働】 住民と行政は情報を共有し、対等なパートナーとして共に知恵や労力を出し合い、支え合い、外部人材の有効活用を図りながら、地域の課題解決に取り組む協働のまちづくりを推進します。
- 【自治】 3つの地域における行政機能を維持するとともに、それぞれの地域に住む人々が、自ら考え行動し、地域の歴史や、風土、文化を生かしながら、魅力のある持続可能な地域を創り、次世代に引き継いでいく、住民自治に根差したまちづくりを推進します。

基本姿勢

メディア戦略を柱とする情報提供

インターネットを含む様々な広告媒体を通じて、多様化する消費者行動に対し、効率的に加美町を伝える仕組みを構築します。

実施事業の情報提供はメディアを複合的に活用し、情報の拡散を図ります。

事業推進体制

総合的・横断的に取り組む柔軟で機動性の高い組織を編成し、行政の総合力を発揮します。

町民や企業・各種団体との連携協働による進捗管理を行い、町全体での推進体制を構築します。

評価検証方法

各施策の評価検証は、外部有識者等を含む検証機関により実施し、検証にはPDSAサイクルを用いて検証や考察を行います。

基本目標

【基本目標①】

里山経済の確立

エネルギー・食料・木材などの地産地消を進め、地域内における雇用やお金の循環を生み出すとともに、観光資源を活用した人とお金の流入するまちづくりを進めます。

◆指標：生産年齢人口

11,688人 → 11,968人 (社人研推計値) (280人増)

【基本目標②】

健康社会の実現

誰もが健康で心豊かに暮らせる社会を目指し、生きがいを感じられるとともに、歩きたくなる、歩いて用事が足せるまちづくりを推進します。

◆指標：生活の質が向上し、加美町での生活に幸福を実感している人の割合

69.1% → 75% (H24満足度調査) (H31年に調査)

※加美町が「好き」、「どちらかと言えば好き」の人の割合と比較

【基本目標③】

子ども・子育て応援社会の実現

実効性のある少子化対策に取り組み、町を挙げて子どもや子育て世帯を応援するとともに、子どもたちが夢や目標を持ち、生きる力を身に付け、自己実現できることで、たくさんの子どもの笑顔に会えるまちづくりを進めます。

◆指標：合計特殊出生率の改善

1.33 → 1.6 (H25年度)

重要業績評価指標(KPI)

- 施策① 地域エネルギー資源の活用
 KPI：年間バイオマス発電量 ●720,000kwh
- 施策② 地元木材の活用
 KPI：地元木材利用民間住宅件数 ●累計50件(H27～31年度)
- 施策③ 観光資源の活用
 KPI：年間観光入込客数 ●1,300,000人
- 施策④ 特産品開発・販売促進
 KPI：起業育成支援事業認定件数 ●累計15件(H27～31年度)
- 施策① 健康習慣の確立
 KPI：小学生の肥満傾向児の割合 ●男子15%未満、女子10%未満
- 施策② 生きがいづくりの推進
 KPI：コミュニティビジネスの創出件数 ●累計5件(H27～31年度)
- 施策③ 歩きたくなるまちづくり
 KPI：町情報発信facebook「いいね」件数 ●平均1,000件
- 施策④ 地域包括ケアシステムの確立
 KPI：平均寿命と健康寿命差の改善 ●男性1.53年 女性3.24年
- 施策① 学校教育の充実
 KPI：将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 ●小学生80%、中学生70%
- 施策② 子育て支援の充実
 KPI：待機児童数 ●0人
- 施策③ 国際交流の充実
 KPI：国際交流活動への参加児童・生徒数 ●累計150人(H27～31年度)
- 施策④ 移住・定住の促進
 KPI：ふるさと帰郷支援センター等を活用したUIJターン数 ●累計10人(H27～31年度)

具体的な施策

- ◇ 地域資源を活用した循環型社会の構築
 ◇ 再生可能エネルギー導入によるエネルギー自給体制の構築
- ◇ 公共施設や一般住宅における地元木材の積極的活用
 ◇ 木材の安定供給に向けた森林環境の整備
- ◇ 観光資源の活用と観光施設を活用した交流人口の拡大
 ◇ 商店街の拠点整備
 ◇ 音楽のまちづくりの推進
- ◇ 起業支援を含む農業の6次産業化を推進
 ◇ 農商工学連携による新たな特産品開発や販路の拡大
 ◇ 農産物認証制度等を活用した産業の振興
- ◇ 生活習慣病予防対策の充実
 ◇ 食育の推進
- ◇ ボランティア・NPO・コミュニティ活動の支援
 ◇ 芸術・文化活動の推進
 ◇ 生涯スポーツの推進
- ◇ 美しいまちなみ景観づくりの推進
 ◇ まちあるきの推進
- ◇ 高齢者の生きがい対策の充実
 ◇ 地域包括ケアシステムの確立
- ◇ 知・徳・体の調和のとれた子どもの育成
 ◇ 教育施設・教育環境の整備
 ◇ 情報化社会への対応
 ◇ 健全な青少年の育成
- ◇ 子どもを健康やかに育む環境づくり
 ◇ 就学前の教育・保育の総合的な推進
 ◇ 地域の子育て支援の充実
 ◇ 子育てにやさしい環境づくり
- ◇ 国際交流の推進
 ◇ 外国語教育の充実
- ◇ 移住の促進
 ◇ 定住の促進
 ◇ 効率的な行政運営の推進